

## まなび展プロジェクト： 未来を教えるインタラクション

慶應義塾大学 環境情報学部2年

岩崎恵美

t09081mi@sfc.keio.ac.jp

### 1. はじめに

本報告書では、2010年9月16日～9月18日に開催されたまなび展の活動報告と研究成果の報告を行う。

### 2. 目的

現在、安村研究会では、より豊かな「まなび」を実現するためのアプリケーションや道具の開発を試みている。我々は、インタラクションデザインの思想をもった「まなび」が私たちに未来を切り開く力を与えるという理念の下に研究を進め、よりアカデミックな学会発表や論文投稿につなげることを目的に本展示会を企画した。

### 3. 展示会の開催報告

#### 3-1 開催概要

本展示会の開催概要は次の通りである。

- ・開催期間：2010年9月16日(木)～9月18日(土)
- ・会場：自由が丘「Casa Tana」
- ・webページ：<http://ylab.sfc.keio.ac.jp/manabi-ten/>



図1 会場風景

#### 3-2 趣旨

本展示会では、体験可能なプロトタイプを用いたデモンストレーション型の展示と「まなび」というフィールドで活躍している識者とのトークセッションを実施することで、まなびにおける新たなインタラクションデザインの提案と、各作品のユーザー評価を行うことを趣旨とした。

#### 3-3 出展作品

会場では全部で16点の作品が展示された。その中でも特に注目を集めた作品を次に記す。

##### ・AKI 黒板 Edu

未来の教育現場で使われることを想定された統合黒板環境。本物の黒板に字や絵を書くような感覚で、ディスプレイにそれを再現できる。

## ・予感テーブル

twitter上から著名人の登場情報を集めて通知するシステム。著名人のつぶやきと連動し、卓上のコップが迫ってくる著名人の足音を伝える。

その他の作品：なんでも天秤、ぴかっトート、音の輪、クイズ国物語り、Your Face Now!、まねびール、Syu-Tube、つみきんぐりっしゅ、JIMOTY、Eravox、Book's Marking、楽描き、voitwi、めもサーチ

## 3-4 トークセッションの開催



図2 トークセッションの様子

本展示会の開催期間中、毎日講演者を招き「まなび」をテーマに約90分間のトークセッションを実施した。まなびというフィールドで活躍されているゲストと講演テーマは次の通りである。

(1) 9月16日(木) 14:00～「科学館の展示を通したまなびの実践から」

- ・美馬 のゆり (公立はこだて未来大学、元日本科学未来館副館長)
- ・安村 通晃(慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

(2) 9月17日(金) 14:00～「ワクワクさんが語る工作の楽しさ」

- ・久保田 雅人 (NHK教育テレビ『つくってあそぼ』「ワクワクさん」)
- ・安村 通晃(慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

(3) 9月18日(土) 14:00～「チームビルディングにおけるまなびの実践」

- ・吉田 和美 (チームビルディングジャパン シニアファシリテーター)
- ・安村 通晃(慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

## 4. 今後の展望

本展示会の実施により、我々は未来を教えるインタラクシオンと題した通り、未来のまなびの一端を垣間みることができた。さらに今回、BSジャパン「世の中進歩堂」からの取材を受け、今後放映予定である。これからは来場者の方々の評価を元に、改良を進め、アカデミックな学会発表や論文投稿へとつなげていきたい。

## 5. 謝辞

本展示会の実施において、その研究遂行に協力いただいた安村研究室の教員・学生の皆様、講演会のゲストの皆様、そして約140名ほどの「まなび展」にご来場いただいた皆様にも感謝したい。本研究は、2010年度湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」、2010年度学術交流支援基金の支援の下に行なわれた。